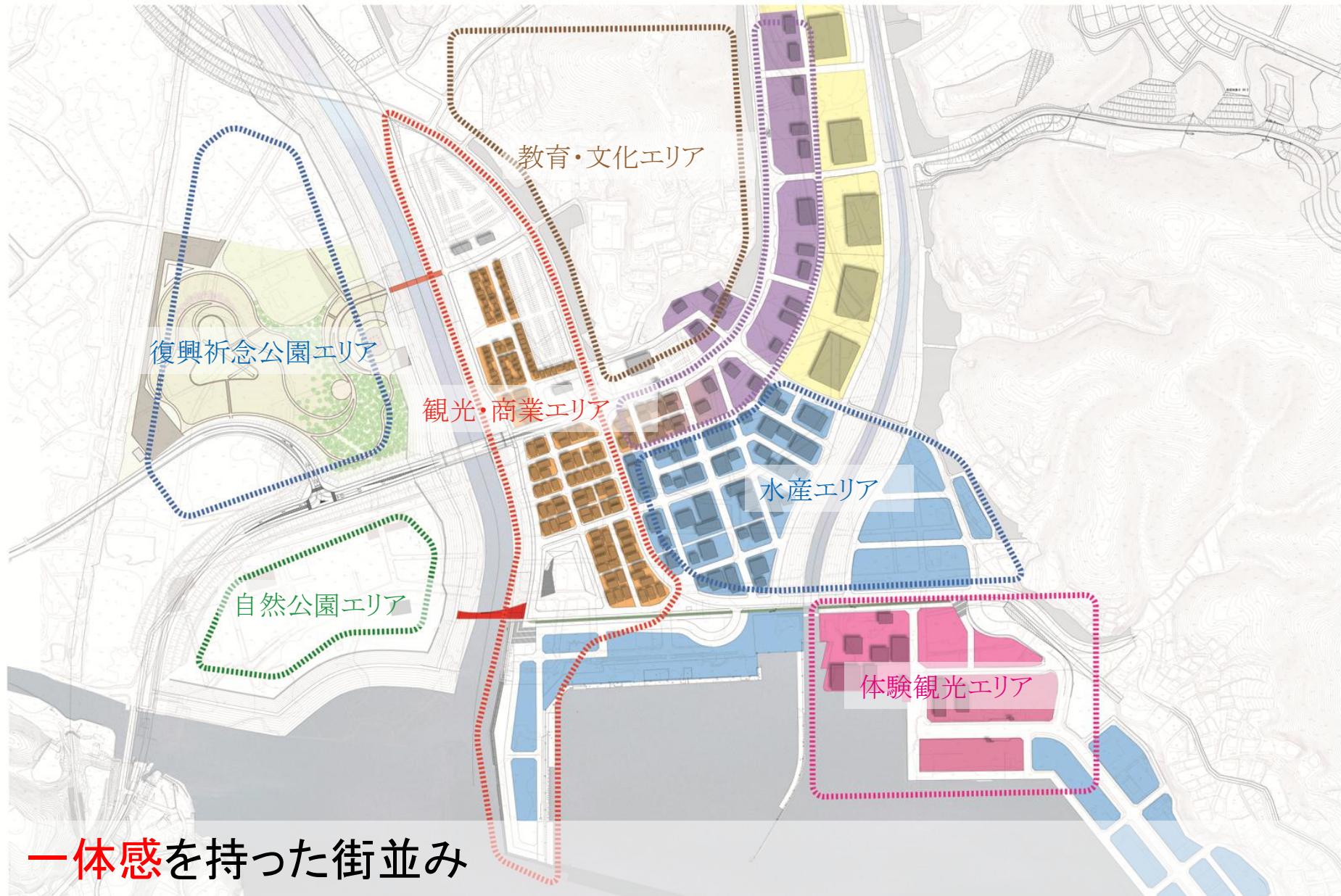


## 南三陸町志津川地区グランドデザイン

隈研吾建築都市設計事務所  
Kengo Kuma & Associates



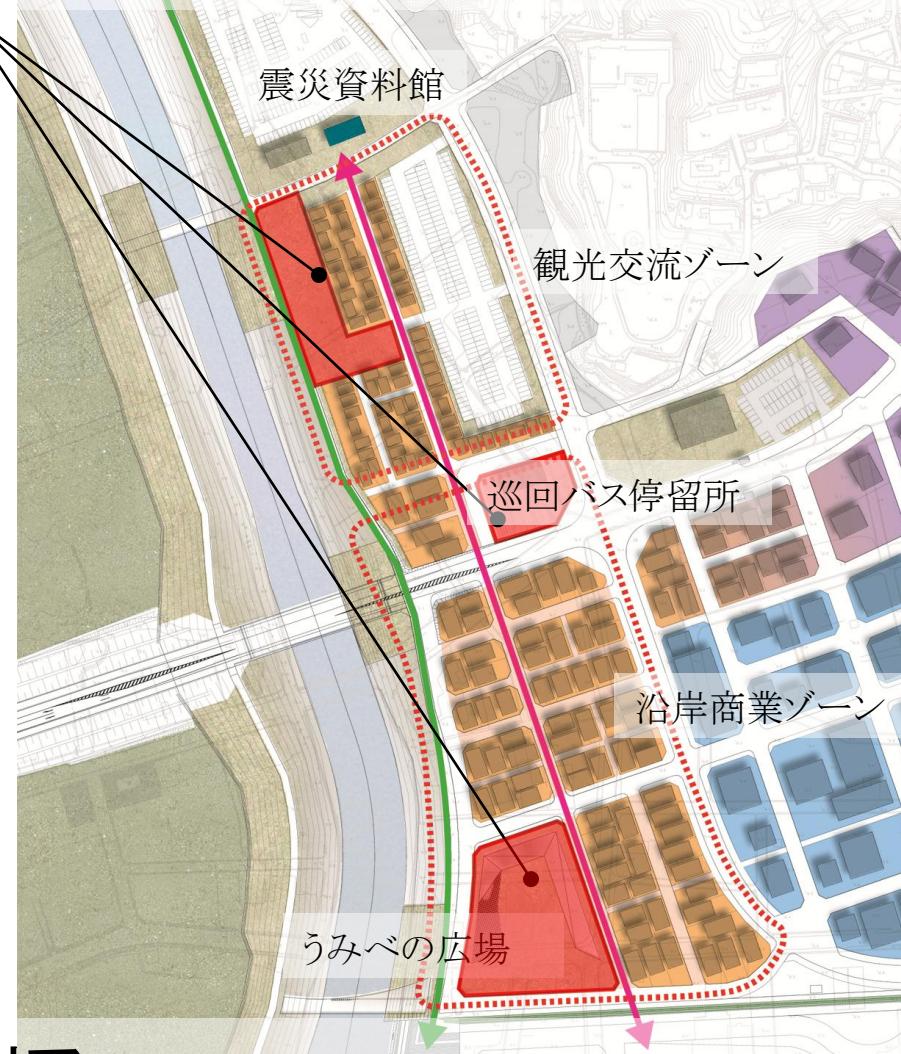
襞(ひだ)を持った街並みが、土地の記憶を継承し、  
新しいにぎわいの空間を作り出します。



## 一体感を持った街並み

多様な特徴を持つエリアがグラデーションに連続し、街全体に**一体感**を生み出します。

しおさい通り沿いには、**広場**や**巡回バス停留所**といった街にとって**重要な機能**が配置され、観光客の動きに流動性をもたらします。また、歩行者の**足休め**となったり、**イベント**での使用も可能です。

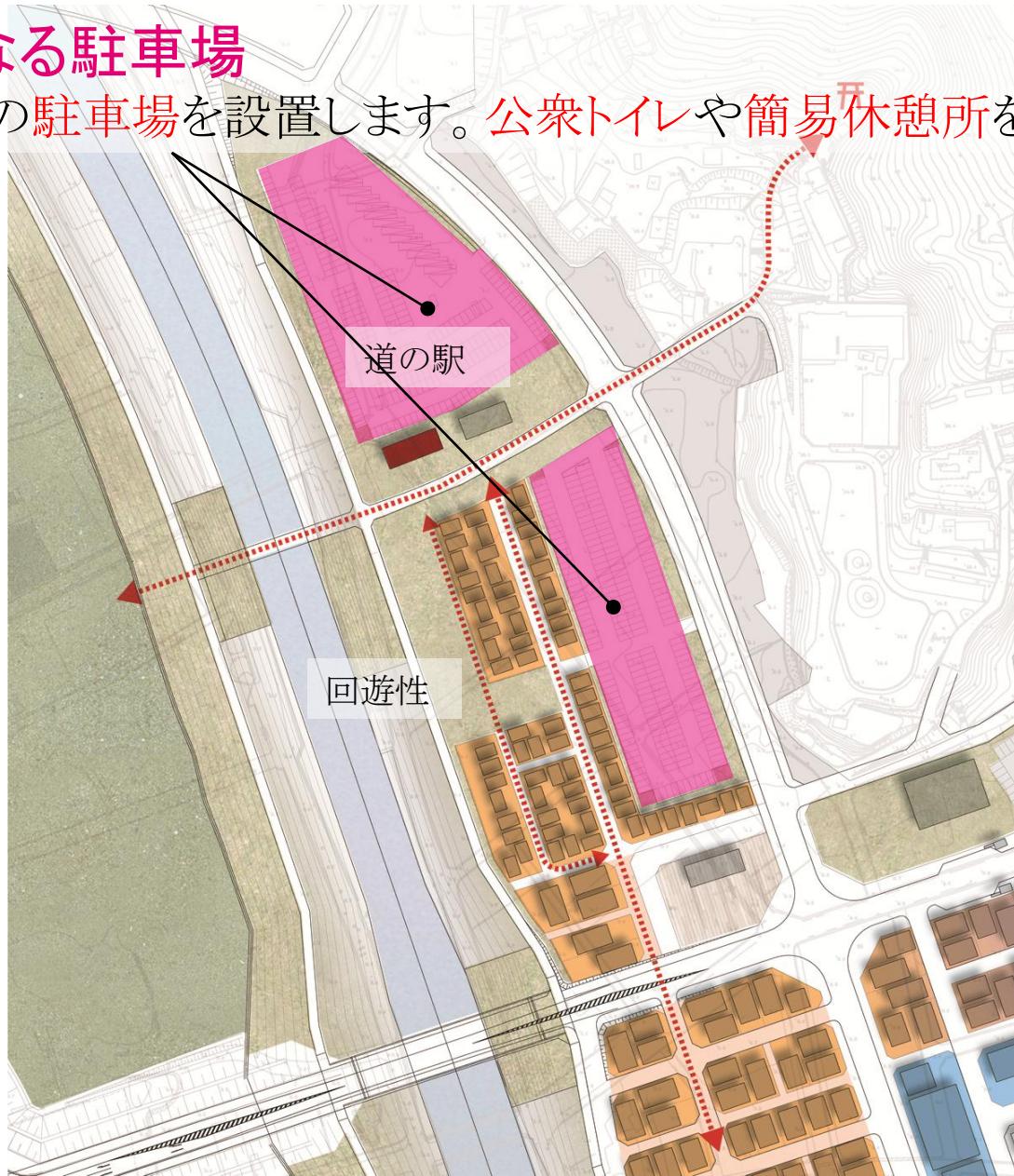


## 観光・商業エリア

海に抜けるしおさい通りを中心とした配置が生み出す**にぎわい**。

# 道の駅となる駐車場

観光客向けの駐車場を設置します。公衆トイレや簡易休憩所を併設。



# 巡回バス停留所

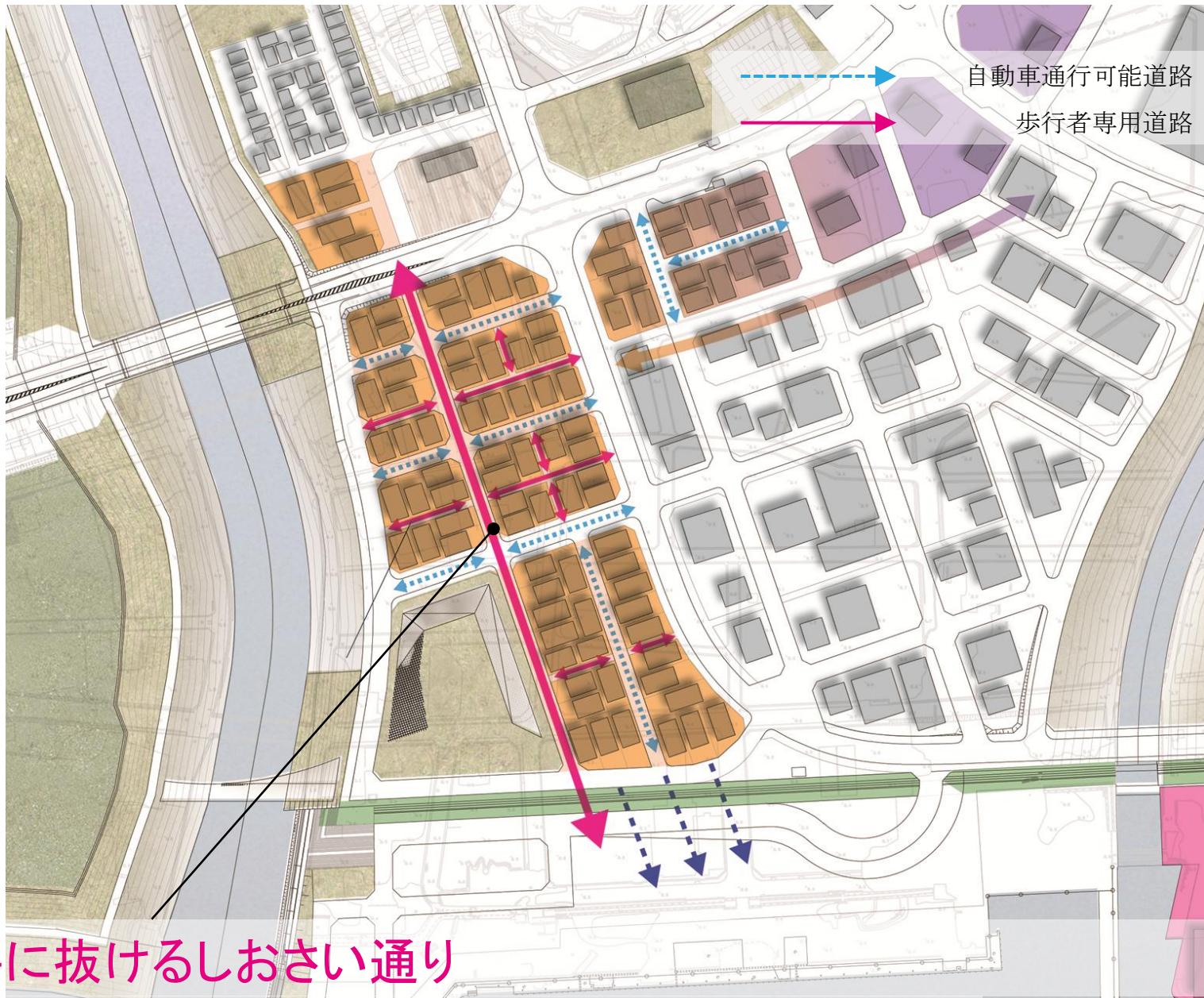
町の交通の結節点に設置される町内巡回バスの停留所。  
観光客のみでなく、地元の方々にも利用しやすい商店街とします。





## 沿岸商業ゾーン

観光・交流ゾーンと連続する、しおさい通りを中心に漁村らしい路地空間を配した懐かしいの街並みです。



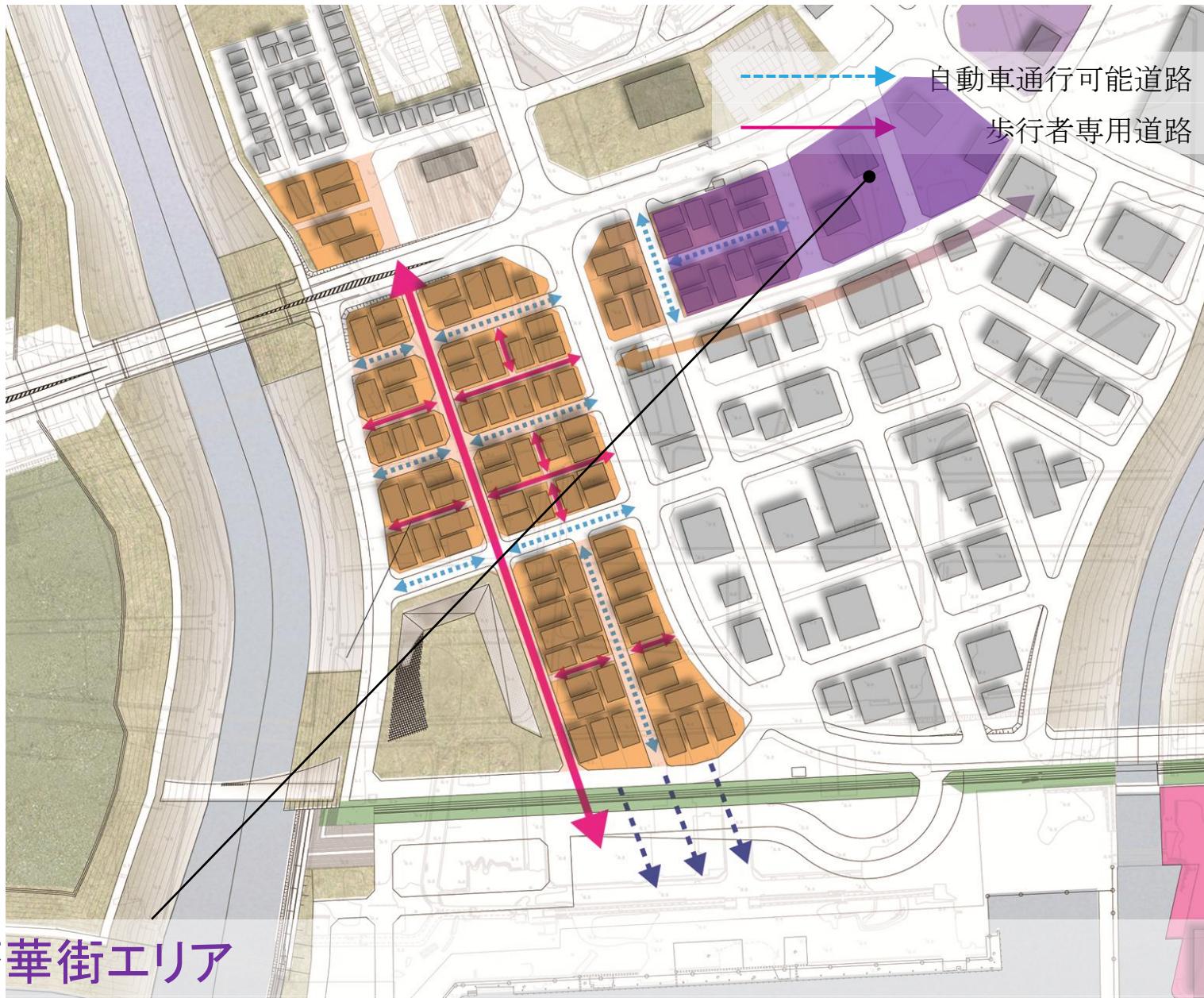
海に抜けるしおさい通り

また、見通しの良い道路は、防災にも役立ちます。



## 大きなうみべの広場

しおさい通り、河川敷、防潮堤に面したうみべの広場。  
広場にかかる大屋根には人々が集い、新しい町の象徴となります。



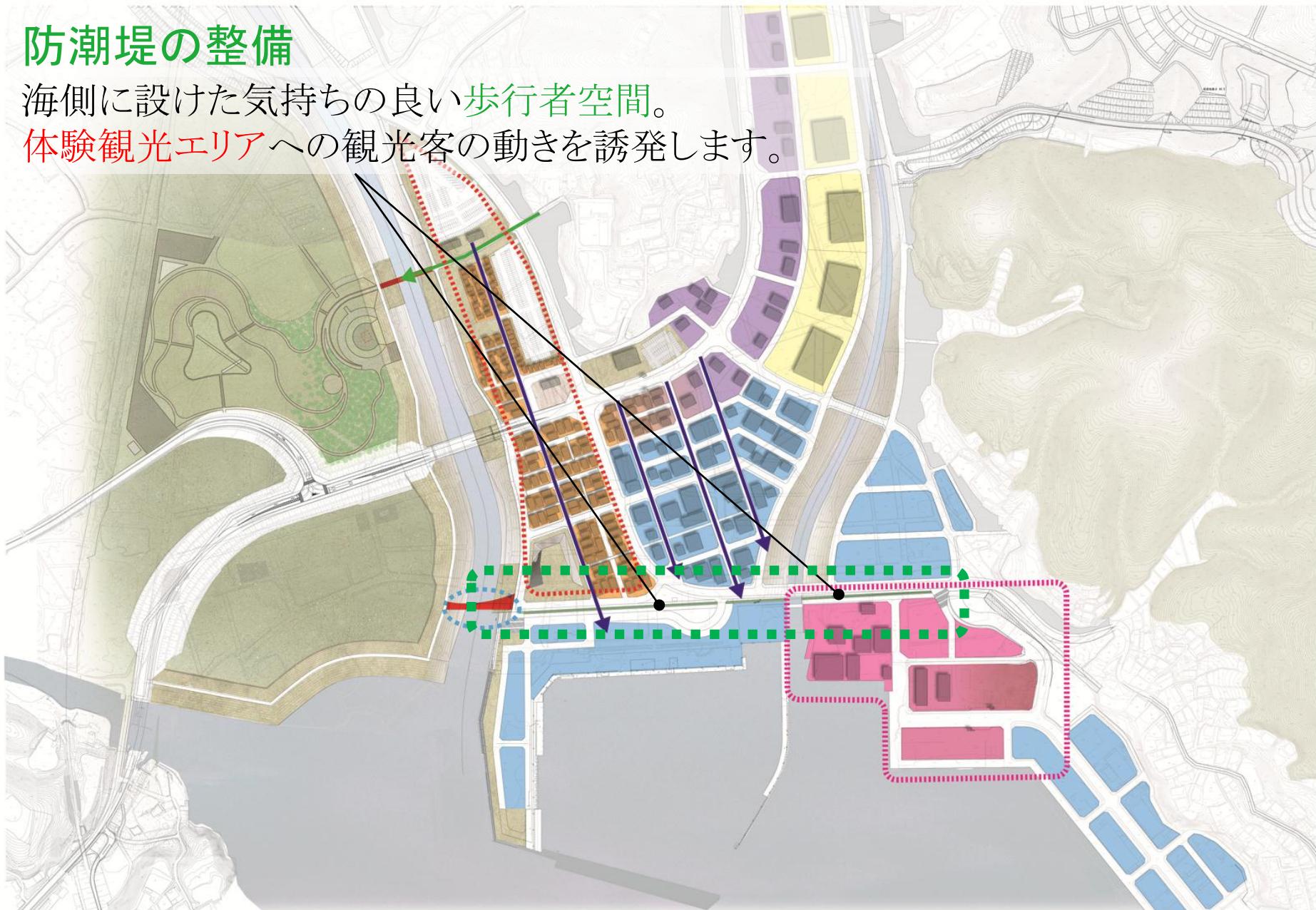
# 繁華街エリア

地元の方々が夜集まることのできる飲食街を配置します。  
夜間の町のにぎわいの中心となります。

## 防潮堤の整備

海側に設けた気持ちの良い歩行者空間。

体験観光エリアへの観光客の動きを誘発します。





## 防潮堤沿いの遊歩道

志津川湾の眺望を楽しみながら、  
沿岸商業ゾーンから体験観光エリアへと接続する重要な観光動線。

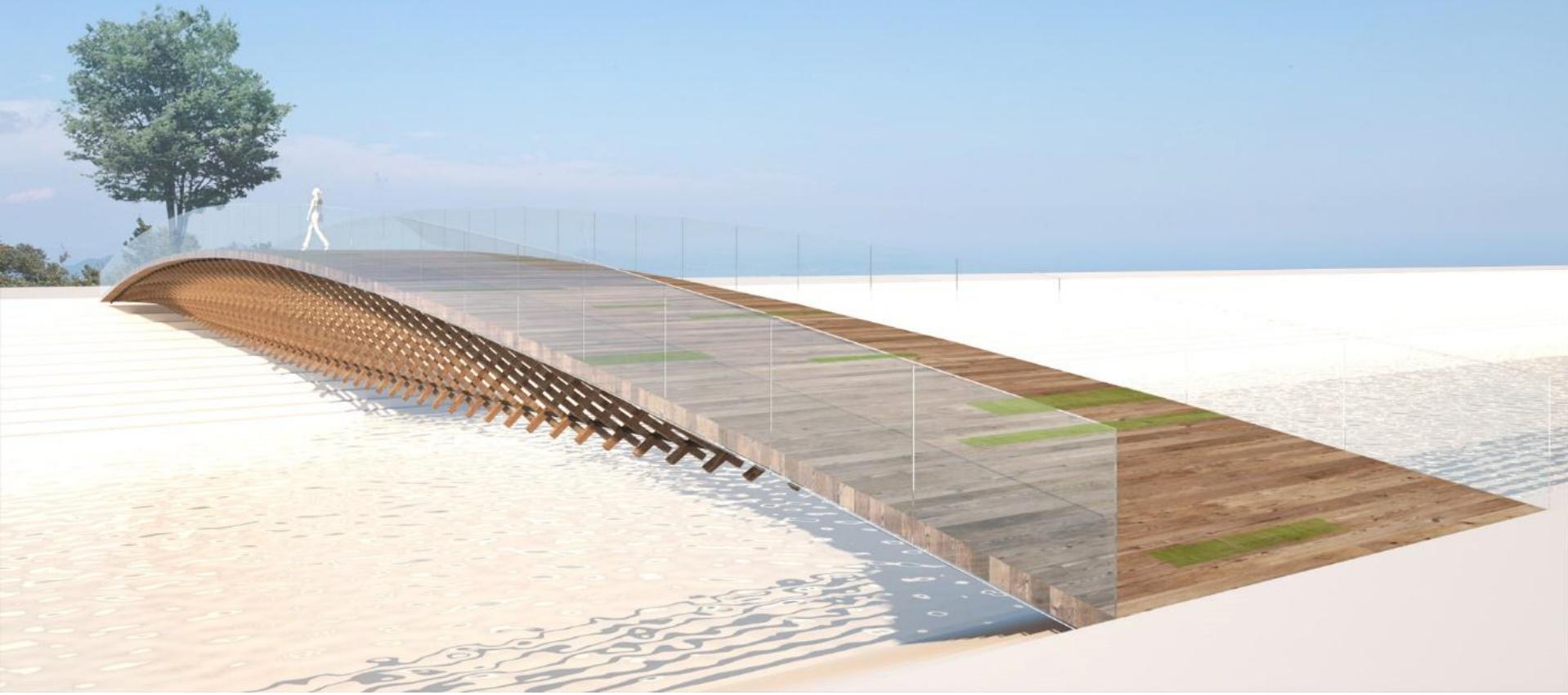
# 慰靈の回遊動線

観光・交流ゾーンから復興祈念公園へ



## 観光客の動線計画

徒步移動を前提としたヒューマンスケールの安全な観光エリア

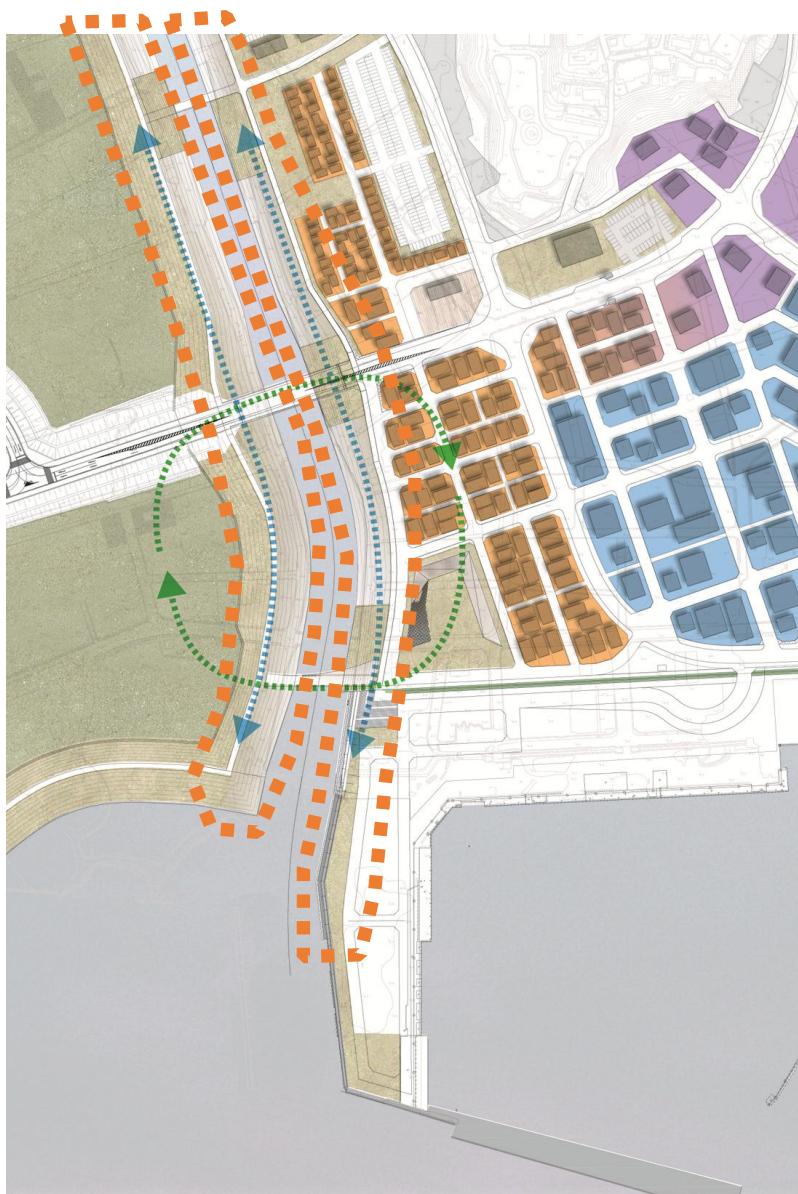


## 二つのエリアを結ぶ中橋

観光・交流ゾーンから復興祈念公園に架かる木の太鼓橋。  
慰靈の場へのゲートとなるとともに、復興を象徴します。



木橋のイメージ 桧原木橋ミュージアム  
(隈研吾建築都市設計事務所)  
15



## 河川敷の親水空間

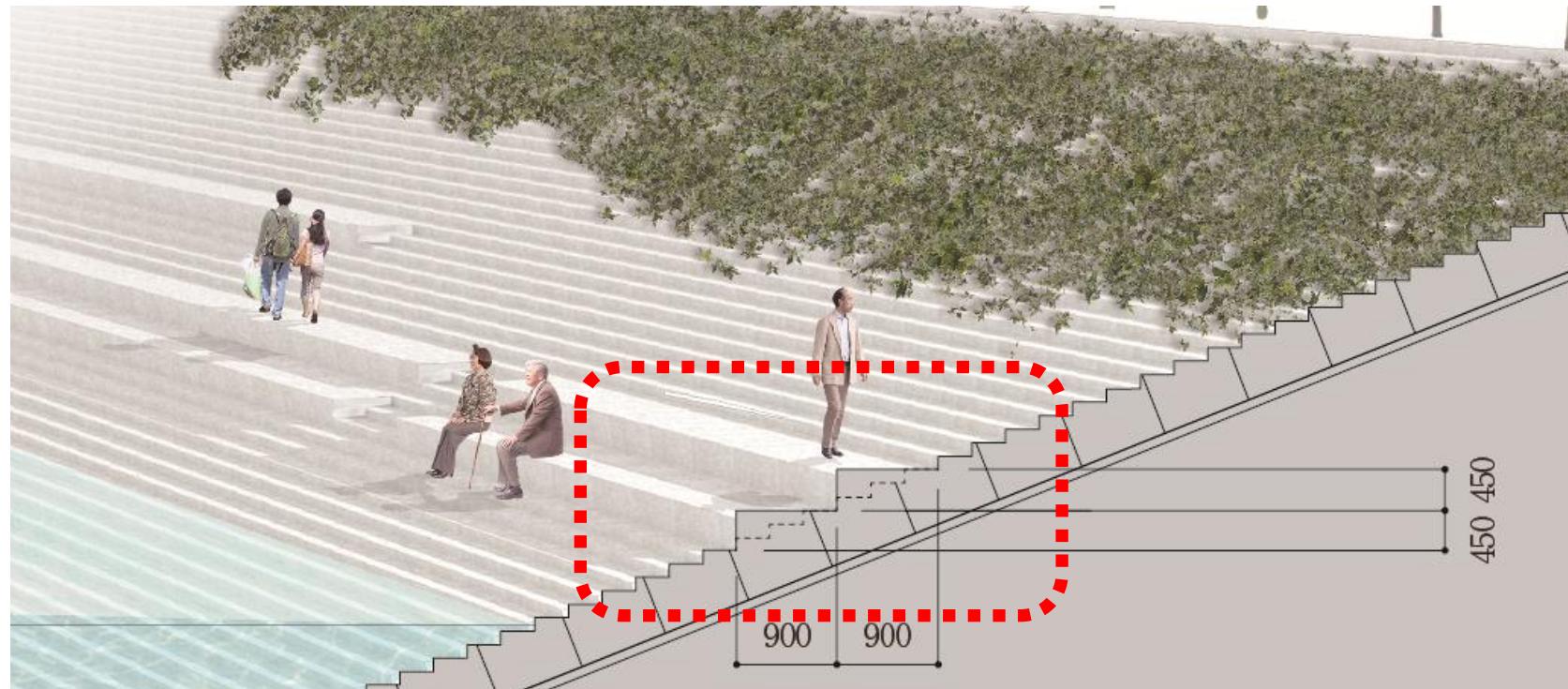
様々なイベントで使用されるこの**親水空間**が、土地の記憶を継承します。



かがり火祭りの様子

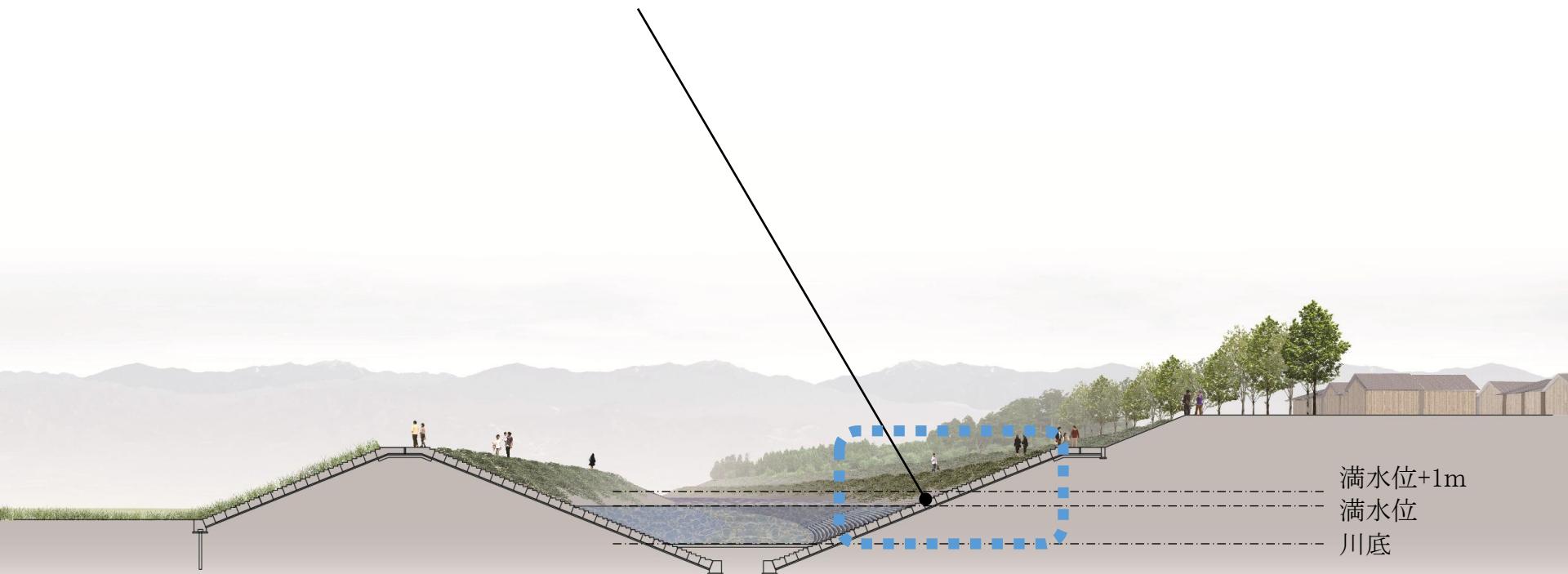
イベントに使用可能な段差

階段上の断面は、**数段まとめて段差**をつけることで、**遊歩道**として利用できます。イベント時には**観客席**としても利用可能です。



## 川面まで下りられる親水空間

河川護岸に59m幅の階段を4箇所整備し、  
灯籠流し等のイベント時に下りられる親水空間を設けます。





河川敷の空間イメージ